



未来をひらく

【特集】確かな学力の向上と健やかな体の育成 2・3面

北九州市の生徒が全国で活躍しています!

～市立学校における部活動等の実績報告～

北九州市立学校の生徒が、様々な大会で活躍しています。

今年度(平成29年12月時点)、部活動等で、全国大会などに出場した学校を紹介します。

国民体育大会(国体)

北九州市立高校・・・
陸上競技(女子5,000m競歩、800m)
ソフトボール(女子)、バレーボール(女子)

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

北九州市立高校・・・
陸上競技(女子5000m競歩、800m、400m)

全国中学校体育大会

【団体】

二島中学校・・・バスケットボール(女子 **2位**)
折尾中学校・・・バスケットボール(女子 **ベスト8**)
曾根中学校・・・柔道(男子 **2位**)
駅伝競走(男子 **3位**)
大蔵中学校・・・柔道(男子 **ベスト8**)
横代中学校・・・卓球(男子)
板櫃中学校・・・バレーボール(男子)
体操競技(女子)
浅川中学校・・・駅伝競走(女子)



【個人】

沼中学校・・・陸上競技
(男子100m、男子110mH)
水泳競技(男子平泳ぎ100m、男子平泳ぎ200m)
石峯中学校・・・陸上競技(男子800m、男子1500m)
浅川中学校・・・陸上競技(男子1500m **優勝**、男子3000m **優勝**、男子4×100mリレー、女子800m、女子1500m)
水泳競技(男子フリーリレー400m)
大谷中学校・・・陸上競技(男子200m)
曾根中学校・・・陸上競技(男子1500m、男子3000m、女子1500m)、柔道(男子66kg **2位**、男子81kg **ベスト8**、女子63kg、女子40kg)
梶田中学校・・・陸上競技(男子110mH)
湯川中学校・・・陸上競技(男子110mH)
中原中学校・・・陸上競技(女子100mH)
霧丘中学校・・・陸上競技(女子100mH **2位**、女子4種総合 **2位**)



柳西中学校・・・陸上競技(女子200m)
本城中学校・・・陸上競技(女子800m)
白銀中学校・・・柔道(男子60kg **3位**、女子52kg)
大蔵中学校・・・柔道
(男子73kg **優勝**)
熊西中学校・・・体操競技(男子)
板櫃中学校・・・体操競技(女子)
永犬丸中学校・・・体操競技(女子)
戸ノ上中学校・・・水泳競技
(男子背泳ぎ200m)
千代中学校・・・水泳競技(男子自由形50m、男子自由形100m)
菅生中学校・・・水泳競技(女子自由形50m **ベスト8**)



全日本マーチングコンテスト

木屋瀬中学校…………… **銀賞**
志徳中学校…………… **銅賞**

全日本合唱コンクール

二島中学校…………… **金賞**



子どもたちに文化のシャワーを!

～ミュージアム・ツアーが始まりました～

小学校3年生を対象に、北九州市立美術館の特色を活かした、館内の美術作品鑑賞、建物自体の見学、美術館からの市内眺望という3つの体験を盛り込んだ、文化ツアーが始まりました。

これは、将来の地域文化の担い手を育成するとともに、自分の住む街の美術館の素晴らしさを知ること、シビックプライドの醸成を図ろうとするもので、昨年度の総合教育会議において、市長より提案がなされたことにより実現したものです。今年度は、八幡東区と戸畑区の18校を対象にモデル実施されました。



カラフルに!そして、一生懸命に!

～合同作品展の舞台裏・特別支援学級での作品製作～

ウェルとばたにおいて、今年度も「特別支援学校・特別支援学級合同作品展」を開催しました。開催期間中は、のべ5,969名ご来場があり、その中のお一人から、次のような感想をいただきました。

「楽しみながら製作している姿が、目に浮かびますね(^-^)」

そこで、西門司小学校特別支援学級の作品「写真たて」を例に、楽しく製作を行った様子をご紹介します。



①まずは、テーマ決め。クラス全員で、「どんなものを作ろうか?」と話し合いを重ねた結果、身近にあるダンボールやボタン、布などの素材を生かした作品を作ろう!ということになりました。

②教師が提示したサンプルを参考に、「自分だけのオリジナル作品を作ろう!」と、児童自身で、思い思いに材料を集めました。

③いよいよ製作。「どんな色にしようか?」「飾りは何がイイかなあ?」と、試行錯誤を繰り返しながら飾り付け等を行い、ついに完成しました!



児童たちは、合同作品展の出品を通して、物づくりの楽しさや、みんなで協力して取り組むことの喜びを学ぶことができたと思います。

【特集】夢や希望に近づくために!

～子どもたちの確かな学力の向上と健やかな体の育成に向けて～

本市においては、加速度的に変化していく社会の中、子どもたちが、将来の職業選択の幅を広げ、夢や希望に近づくための資質・能力を育むため、「確かな学力の向上」と「健やかな体の育成」を目指す「学力・体力向上アクションプラン」の取組みを推進しています。今年度の「全国学力・学習状況調査」及び「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が公表されていますので、これらを交えながら、本市の取組み状況と子どもたちの成長の過程についてご説明します。

学力向上の取組み

小学校から中学校までの児童生徒の学力や、日ごろの生活習慣を把握するため、本市独自の「北九州市学力状況調査」を実施しています。国の行う「全国学力・学習状況調査」の結果と合わせて、指導の充実・改善に活かしています。

わかる授業づくり 全ての教職員が、これからの時代を生きる子どもたちに求められる「自ら課題を発見し、問題を解決する力」を育む授業を行えるよう、授業力向上のための研修や授業力の優れた学力向上推進教員による助言を充実させ、子どもたちが主体的に学習する「わかる」「楽しい」授業づくりを進めています。

学力定着 児童生徒のつまずきをスピーディーに把握し、細かな指導を確立するため、「学力定着サポートシステム」の運用を開始(平成29年度～)しました。また、放課後の時間帯を利用して、小中学校の教室で子どもたちの自主学習を支援する「子どもひまわり学習塾」を小学校100校、中学校全62校を対象に実施しています。



英語力がアップしています

本市では、生徒の英語力を客観的に評価・把握して、指導改善に活かすための「英検IBA」の実施、イングリッシュキャンプやイングリッシュコンテストの開催など、生徒が実際に英語を使う事業や教員研修の充実などの取組みを行っています。



第4回 イングリッシュキャンプ



第13回 イングリッシュコンテスト北九州(ウェルとばた)

昨年4月5日に文部科学省が公表した「平成28年度英語教育実施状況調査」の結果によると、「中学校3年生の英語力」は、全国平均を上回り、上位に位置しています。また、国が平成29年度までに達成するとして認定した指標にも、近づいている状況です。

中学校3年生の英語力の状況



体力向上の取組み

「運動の好きな子ども」や「運動量の豊富な子ども」を育成するために、「北九州市体力向上プログラム」を作成し、体育授業の充実を図っています。

授業力の向上 立命館大学と北九州市で共同開発した、効果的で楽しく取り組める、準備運動を取り入れています。また、教職員の研修会などの開催により、楽しい体育授業づくりの検討・改善を進めています。

運動習慣の確立 学校全体で取り組む「1校1取組」の推進により、運動に取り組む機会や運動量を増やしています。また、「北九つ子体力向上シート」などの活用により、自分自身の体力の成長を可視化し、体力向上の目標をもたせるとともに、運動への意欲を高めています。

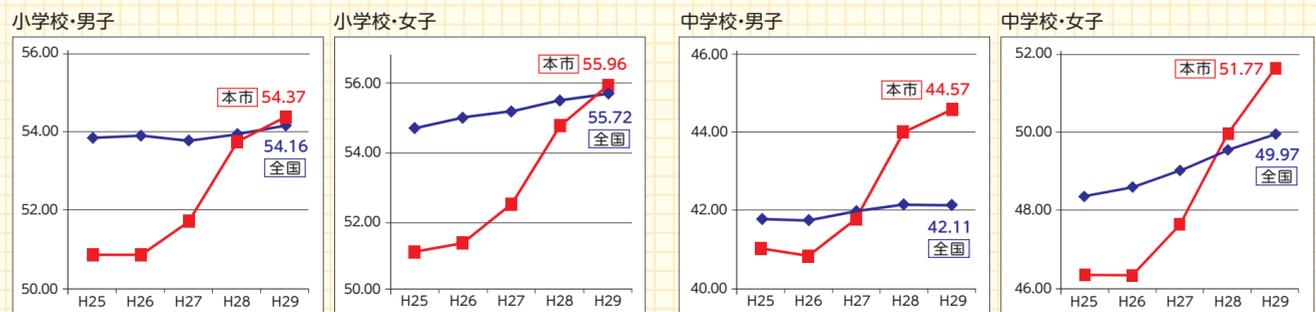


小・中学校ともに全国平均を上回りました!

“中学校は、政令市20都市の中で、男子2位・女子4位”

～平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査結果～

体力合計点の推移



調査種別の測定結果を点数化し、合計した「体力合計点」が、小学校の男女ともに、調査開始以降初めて、全国平均を超えました。また、中学校の男女ともに、昨年度に引き続き全国平均を超えました。

実技に関する調査

小学校(8種目): 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校(9種目): 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(男子1500m、女子1000m)、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走、または、20mシャトルランのどちらかを選択

小学校

- 男女ともに、握力・立ち幅とび・ソフトボール投げの数値が高く、運動特性の「力強さ」が高いことがうかがえます。
- 男女ともに、反復横とびの数値が全国平均を下回っており、運動特性の「すばやさ」に課題があります。

中学校

- 男女ともに、握力・上体起こし・長座体前屈・50m走・立ち幅とびの数値が高く、運動特性の「力強さ」が高いことがうかがえます。
- 男子は、20mシャトルランと持久走にやや課題が見られます。女子は、20mシャトルラン・持久走・ハンドボール投げの数値が全国平均を下回っています。男女ともに、運動特性の「ねばり強さ」に課題があります。

質問紙調査

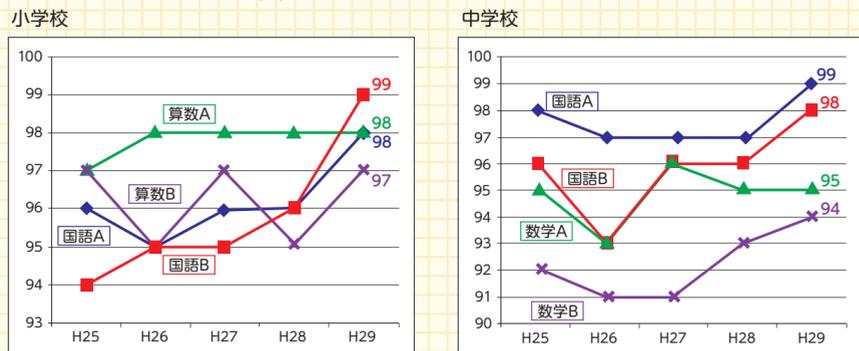
運動習慣、生活習慣などに関する質問紙による調査

- 運動やスポーツは好きですか?
→ 小・中学校ともに、全国平均と同程度です。
- 学校の授業以外で、どのくらい運動やスポーツしていますか?
→ 「1週間の総運動時間が60分以上」と回答した割合は、小学校男女、中学校男子は全国平均と同程度で、中学校女子は下回っています。
- 家の人から運動やスポーツをするように勧められることはありますか?
→ 肯定的な回答の割合は、小学校男女、中学校男子は全国平均と同程度で、中学校女子は下回っています。

着実に改善を続けています!

～平成29年度 全国学力・学習状況調査結果～

全国平均正答率に対する割合(%)



教科に関する調査

主として「知識」に関する問題(A問題)、主として「活用」に関する問題(B問題)を出題

小学校・国語

- 俳句や短歌から、情景や作者の思いについて、想像することができています。また、自分の考えを伝えるために、話を工夫できるようになってきています。
- 日常生活で、意図や目的に応じて、学習した漢字を適切に使用したり、必要な内容を整理して、文書を書いたりすることに課題があります。

小学校・算数

- 工夫して効率的に計算することができています。
- 表の見方や意味を理解することに課題があります。

中学校・国語

- 目的に応じて必要な情報を読み取ることができています。
- 語句を場面や状況に応じて適切に使分けたり、感じたことや考えたことを具体的に説明したりすることに課題があります。

中学校・数学

- 資料から読み取った情報を分析して、説明することができるようになってきています。
- 不足している条件や問題の条件を変えて考えることに課題があります。

質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境などに関する質問紙による調査

- 学校の宿題をしていますか? → 小・中学校ともに、全国平均と同程度です。
- 自分で計画を立てて勉強をしていますか? → 小・中学校ともに、全国平均を下回っています。
- 自分には、よいところがある(と思いますか)? → 小・中学校ともに、肯定的な回答が増え、全国平均と同程度になっています。
- 地域や社会への関心(がありますか)? → 小・中学校ともに依然として、肯定的な回答の割合が、全国平均を下回っています。

オリパラ教育で運動意欲を向上!

本市では、スポーツ庁の委託を受け、今年度は、小学校13校、中学校6校、幼稚園1園を推進校として、オリンピック・パラリンピック(以下「オリパラ」)教育を展開しています。

昨年12月には、小倉北区の足立中学校において、ロンドンオリンピック柔道・銅メダリストの西山将士さんによる、「オリンピックへの道」と題した講演や、柔道を体験する実技指導が行われ、生徒にとって、オリパラについての理解を深め、東京2020大会への関わり方について考える契機となりました。

今後も、市立学校・園において、幅広くオリパラ教育についての啓発を行い、子どもたちの東京2020大会への機運の醸成を図るとともに、スポーツへの関心を高めたいと考えています。



教育委員就任あいさつ



貴重な財産を

さらに磨く

新委員 平野 氏貞

昨年10月に、教育委員を拝命いたしました。民間企業で長く働いてきた者としては、全く新しい分野ですが、北九州市の教育行政が、よりよい方向に向かうよう、微力ではございますが、精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、現在所属している会社で、長らく人事関係の仕事にたずさわり、その中で社員の教育研修や育成にも関わってきました。企業内教育と学校教育、異なる点は多々ありますが、この経験を生かせればと考えています。

当社では、人事の組織を「人事部」ではなく、「人財部」と表記するようにしています。人は財産、つまり、「メーカー」として生命線である、生産設備に投資するのと同様に、人財に対する「投資」を惜しんではならない」との考えからです。

人財投資の大きな柱のひとつが育成投資で、これをおろそかにすると、その影響はすぐにあらわれることはありませんが、5年後10年後に、ボディブローのように効いてきて、明らかに企業活力が低下します。

言うまでもないことですが、学校教育も全く同じことが言え、継続と進化が極めて重要です。これを誤ると、北九州市のみならず、日本の、そして現在の世界における日本の位置づけを考えると、世界の将来に大きな禍根を残すことになりかねない。少し大げさですが、教育はそれほど大切なものであると思っています。

少子化が進む日本、中でも人口減に歯止めのかからない北九州市が、総合力を伸ばさせていくには、一人ひとりの力を上げることが絶対に必要になります。

教育委員となつてまだ数カ月ではありますが、現場で熱心にご指導いただいている先生方のご努力とご苦勞をお聞きし、指導する側の環境整備も、大変重要であると感じています。新指導要領への対応も急務であり、大きな変革が待ったなしに迫ってきています。現場・現物・現実を大切に、市民の皆さんと北九州市ならではの、北九州市らしい仕組みを作り上げ、その取り組みが全国から評価されることで、『教育のおかげで市の人口が増えた』と言われる委員会活動を目標にしたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学校の話題提供

『俳優 光石 研さんに学ぶ』

いろいろな経験を体に染み込ませて欲しい!



自熱の演技指導も!



戸畑区の牧山小学校において、北九州市出身の俳優・光石研さんを迎え、俳優の仕事について学ぶ「キャリア学習」が行われました。

これは、同校の創立100周年記念として実施されたもので、「俳優という仕事の良さは、みんなで力を合わせる楽しさ」など、児童にとって興味津々の回答が続出した質問コーナー等が行われました。



子ども図書館のロゴマークが決定しました!

《最優秀賞(採用)》

尾郷 智美さん
(福岡県立八幡中央高等学校3年)

《作品コンセプト》

『本を読む親子』『花』『笑顔』

子どもの「可愛らしさ」と、図書館の「静かさ」をイメージして、シンプルで見やすいデザインにしました!



北九州市立
子ども図書館

本市では現在、子どもの読書活動の推進拠点として子ども図書館を整備しています(平成30年度内開館予定)。

開館に向けて、子どもたちに親しみを持って利用してもらえる図書館となるよう、利用対象と同じ18歳以下の方へロゴマークを広く募集したところ、344点の応募があり、選定委員会で検討の結果、上記のとおり決定しました。

ロゴマークは、子ども図書館正面玄関のサインのほか、パンフレットやホームページ等に活用していく予定です。

平成29年度
総合教育会議を開催しました



市長と教育委員会が、本市の教育をより良いものとするために話し合う、総合教育会議が開催され、「新学習指導要領への対応」「本市の教員をとりまく現状課題」及び「子どもたちの学力・体力の向上」のテーマにより、活発な意見交換が行われました。

教育委員会からの、教育現場の現状などの説明や意見を受け、市長からは、意見をしっかりと精査をして、よりよい教育環境の整備のために努力したい、とのコメントがありました。